

米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会(臨時)説明事項

I 経ヶ岬通信所における新型コロナ感染者の発生状況

(1) 現状(8月6日19時現在)

- ・ 経ヶ岬通信所における米軍関係者(※)の感染者数は10名(軍人3名、軍属7名)と承知(米軍及び京都府公表分)
(※)米軍関係者:日米地位協定適用対象者(軍人、軍属、それらの家族)をいう。以下同じ。
- ・ なお、上記の米軍関係者のほか、下記2例目の接触者1名(府792例目)及び当該接触者の接触者1名(府833例目)の計2名(いずれも日米地位協定適用非対象者)の感染を確認(京都府公表分)
- ・ 感染が判明した米軍関係者は、現在、自宅にて隔離されており、その容態は、概ね軽症と承知 ※府792、府833の2名は入院中と承知

(2) 時系列(日付はいずれも陽性確認日)

7月26日(1例目)

- ・ 米軍人1名

7月28日(2例目)

- ・ 米軍属1名
- ・ 1例目の濃厚接触者

7月30日(3例目、4例目)

- ・ 米軍人2名
- ・ 1例目の濃厚接触者等

7月31日(府792例目)

- ・ 米軍関係者(2例目)の接触者

8月2日(5例目~10例目)

- ・ 米軍属6名
- ・ 2例目の濃厚接触者

8月3日(府833例目)

- ・ 府792例目の接触者

II 感染拡大防止の取組み

(1) 在日米軍の対応

- ・ 在日米陸軍（座間）は、1例目の発生を受け、医療・除染・調査等を行う防疫・医療専門チームを経ヶ岬通信所に派遣し、施設の消毒、濃厚接触者の把握を行うとともに、行動履歴調査を丹後保健所と緊密に連携しながら実施
- ・ また、経ヶ岬通信所においては、火急の場合等を除き職員の出勤を停止とする措置やマスクの着用を含め、更なる感染拡大防止の徹底を図っているところ

(2) 近畿中部防衛局の対応

- ・ 近畿中部防衛局は、丹後広域振興局に職員数名を連絡員として派遣し、丹後保健所と経ヶ岬通信所との間のコミュニケーションが円滑に行われるよう通訳支援を含む各種調整業務の支援を行い、関係機関への適時適切な情報共有及び連絡調整に努めているところ

(3) 調査等の状況

- ・ 1例目の感染者については感染経路が不明であるが、発症前の2週間において出入国の履歴はないと聞いており、国内感染の蓋然性が高いと認識
- ・ 2例目以降の感染については、1例目の感染者を起源とする濃厚接触者の連鎖であることが判明しており、次なる連鎖の防止に資するよう、消毒の徹底と、それぞれの感染者への適切な隔離療養措置を実施中
- ・ 現時点では、経ヶ岬通信所内及び居住地域内という限定されたコミュニティ内での感染にとどまっており、市中への蔓延は確認されておらず、今回の感染が収束に向かうよう、引き続き、適切な感染防止措置及び隔離療養措置を徹底

(4) PCR検査の実施状況

- ・ 米軍人については、1例目の感染後、すでに全員のPCR検査を実施済み（2名陽性）
- ・ 軍属については、濃厚接触者（検査済み）以外の者を対象とする全員のPCR検査を8月5日から順次実施中
- ・ 経ヶ岬通信所に関係する業務に携わる日本人従事者については、保健所が現時点までにPCR検査を実施した10名全員が陰性
- ・ 現在、保健所が濃厚接触者等についての調査を実施しているところで

あり、できるだけ早く濃厚接触者を特定し、必要な方には検査を実施

Ⅲ 今後の取組み

- ・ 引き続き、感染拡大防止に取り組むことが重要であると認識しており、経ヶ岬通信所と連携を図りつつ、地域の保健福祉を担う京都府保健所等が行う感染拡大防止措置等が円滑に実施できるよう、全力を挙げて取り組む所存

以 上